

発明の名称： ディスプレイ装置

特許番号： 特許第7065418号

出願人： 学校法人東京工芸大学

発明者： 内田孝幸（東京工芸大学）、川村仁志 [本学、卒業&修了生]（(合) バリアブルデザイン）

### 本発明の概要

配列応答可能なディスプレイなどを提供する。すなわち、ディスプレイを備えるとともに他のディスプレイ装置との関係で変更可能な隣接配列情報を出力可能な画面部と、前記隣接配列情報を取得する隣接配列情報取得部と、隣接配列情報取得部が取得した隣接配列情報に応じてディスプレイの表示を制御する配列応答制御部と、を有する配列応答可能なディスプレイ装置などを提供する。

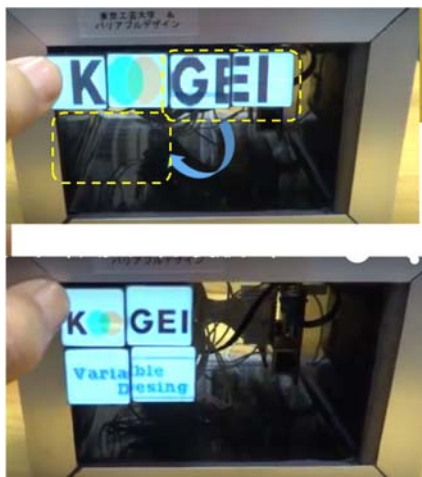


図1 2×2から1×4へのアスペクト比変更

(赤点線で囲んだディスプレイが回転し、これに伴って表示画像も切り替わる。)

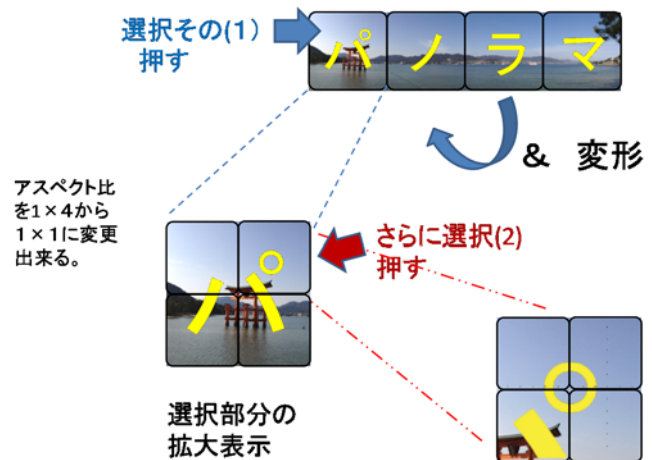


図2 ディスプレイの変形に伴う拡大表示

応用例： 直観的な画像選択、拡大表示

### 狭額縁画像表示スイッチの利点

- ① タッチパネルと異なり、押し込んだストロークによる操作感があり、押し間違いがほとんどない。
- ② ベゼル(額縁)がほとんどない狭額縁ディスプレイのため、タイル状に複数並べて、大型化が可能。また、形状は四角に限定されない。(○、△・・・の形状)
- ③ 確実性:スイッチ自体は、実績のあるメカニカルスイッチのため、OSの不具合に左右されない。

### 本特許のさらなる利点

- ・従来技術の問題点であった、画像表示のアスペクト比、形状をその状況、必要性に応じて変形可能
- ・操作者は、形状を変えることのみで、画像の表示の変更が可能
- ・現在では、15fps 程度の動画表示も可能。

### ビジネス化の展開

- ・スイッチの個数を減らし、GUIによる操作の確実性を求めるもの
- ・直観的かつ、確実なスイッチ操作を求める機器
- ・本技術の適用により、タッチパネルとは異なる、確実なスイッチ操作が可能
- ・操作感があり、安全、確実を高度に要求する製造装置
- ・自動車、オートモービル等の運行、ロジステック関連への計器制御などの応用分野が期待される。

